



七夕市民まつりでパレードを行う富浦小音楽部

おもな内容

- ★議案内容と審査結果……………P 2～3
- ★主な議案質疑……………P 3
- ★第2回定例会の日程……………P 3
- ★請願・陳情の審査結果……………P 3
- ★永年勤続表彰……………P 4
- ★第2回臨時会……………P 4
- ★議会のうごき……………P 4
- ★一般質問……………P 5～9
- ★常任委員会の審査……………P 10～11
- ★行政視察報告……………P 11
- ★子ども議会……………P 12

第2回定例会のあらまし

平成22年第2回定例会が、6月11日から6月28日までの18日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成22年度旭市一般会計補正予算、条例の一部改正、専決処分承認、人事案件など14議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。

6月17・18日には一般質問が行われ、10人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。最終日の28日には、委員会から2件の発議案が提出され、いずれも全員賛成で原案のとおり可決されました。

平成22年 第2回定例会

議案の内容と 審査結果

補正予算

◆議案第1号

平成22年度旭市一般会計補正予算の議決について

(可決)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3700万円を追加し、予算の総額を269億4700万円とするものです。

条例の一部改正

◆議案第2号

旭市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

◆議案第3号

旭市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

地方公務員の育児休業等に関する法律

の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

◆議案第4号

職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

職員が給料を受けながら職員団体のための活動ができる場合について、所要の改正を行うものです。

◆議案第5号

旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

国より通知された「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令及び住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令」の一部改正並びに全国消防長会からの通知に基づき所要の改正を行うものです。

人事

◆議案第9号

旭市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

(同意)

現評価員の退任に伴い、後任の評価員を選任するにあたり議会の同意を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

新任 堀川茂博 氏(横芝光町)

◆議案第10号

旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

(同意)

現委員のうち1名が来る8月18日をもって任期満了となるため、後任の委員を任命するにあたり議会の同意を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

新任 伊藤啓子 氏(旭市イ)

その他の議案

◆議案第6号

旭市定住自立圏形成方針の策定について

(可決)

定住自立圏構想推進事業の実施に先立ち、定住自立圏構想推進要綱第5の(4)に定める定住自立圏形成方針を策定するにあたり、地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の規定により議会の議決を求めるものとす。

のです。

◆議案第7号

千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

(可決)

平成22年3月23日に印旛郡印旛村及び同郡本埜村が廃止され、その区域が印西市に編入されたことに伴い、同組合規約を改正するため、議会の議決を求めるものとす。

◆議案第8号

千葉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

(可決)

議案第7号と同様の理由により、広域連合の議会の議員の定数に関する規定を改正するため、議会の議決を求めるものとす。

専決処分

◆議案第11号

専決処分の承認について(平成21年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算)

(承認)

平成21年度国民健康保険事業特別会計に、急施を要する補正事由が生じたため、専決処分したものです。

◆議案第12号

専決処分の承認について(旭市税条例の

一部を改正する条例) (承認)

◆議案第13号 専決処分承認について(旭市都市計画

税条例の一部を改正する条例) (承認)

◆議案第14号 専決処分の承認について(旭市国民健康

保険条例の一部を改正する条例) (承認)

(承認)

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、専決処分したものです。

委員会提出議案

◆発議第1号 義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書の提出について (可決)

第2回定例会の日程

(開会)

6月11日(金)

- ・永年勤続表彰伝達並びに記念品贈呈
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・議案の上程
- ・提案理由の説明並びに政務報告
- ・議案の補足説明及び報告の説明

6月15日(火)

- ・議案の質疑

◇追加日程

〈採決〉

- ・常任委員会へ議案・請願・陳情を付託

6月17日(木)

- ・市政に関する一般質問

6月18日(金)

- ・市政に関する一般質問

6月22日(火)

- ・建設経済常任委員会

6月23日(水)

- ・文教福祉常任委員会

6月24日(木)

- ・総務常任委員会

6月28日(月)

- ・常任委員長の議案・請願・陳情報告

〈質疑・討論・採決〉

◇追加日程

- ・発議案の上程
- ・提案理由の説明

〈質疑・討論・採決〉

- ・事務報告

(閉会)

報告

◆発議第2号

国における平成23年度教育予算拡充に関する意見書の提出について (可決)

○報告第1号

平成21年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について

○報告第2号

平成21年度旭市一般会計事故繰越し繰越計算書について

○報告第3号

平成21年度旭市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

○報告第4号

平成21年度旭市病院事業会計継続費繰越

計算書について

○報告第5号

平成21年度旭市病院事業会計予算繰越計算書について

○報告第6号

旭市土地開発公社の事業経営状況について

○報告第7号

財団法人旭市福祉協会の事業経営状況について

○報告第8号

専決処分の報告について(損害賠償額の決定)

主な議案質疑

議案第1号

Q 総務費の賦課徴収費の不動産鑑定委託料について、2048万円は、固定資産税をかけるための土地評価の鑑定料だと思うが、地区ごとに何か所の鑑定をするのか。

また、旭市の固定資産税の税率、都市計画税の税率は何%なのか。

A 標準地の数は、旭地区が187、海上地区が34、飯岡地区が38、干潟地区が42、合計301地点です。

また、固定資産税の税率は1.4%、都市計画税の税率は0.2%です。

請願・陳情の審査結果

第2回定例会では、請願2件と陳情7件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区分	件名	審査結果
請願第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択を求める請願	採択
請願第2号	国における平成23(2011)年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願	採択
陳情第3号	公契約条例の制定を求める陳情	不採択
陳情第5号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情	不採択
陳情第6号	人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情	不採択
陳情第7号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情	不採択
陳情第8号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情	不採択
陳情第9号	備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める陳情	継続審査
陳情第10号	国産農産物の生産者価格の大暴落を引き起こすEPA・FTA推進路線の見直しを求める陳情	継続審査



永年勤続表彰

平成22年5月26日第86回全国市議会議長会の定期総会で、市議会議員として永く地方自治の伸展に貢献されたことに對し、次の2名の方々が表彰されました。おめでとございます。

◎議員在職35年以上特別表彰
林 一哉 議員

◎議員在職10年以上表彰
嶋田 茂樹 議員(※)

(※) 合併前の町議會議員在職年数は $\frac{1}{2}$ とし、合併後の市議會議員在職年数に加算されております。



特別表彰を受ける林一哉議員

第2回臨時会

平成22年第2回臨時会が7月29日に開催されました。

この臨時会には、財産の取得、工事請負契約の締結など4議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

財産の取得

◇議案第1号

財産の取得について

(可決)

災害対応特殊消防ポンプ自動車1台を購入する仮契約を締結したので、この契約について議会の議決を求めるものです。

工事請負契約

◇議案第2号

工事請負契約の締結について (可決)

旭市立第一中学校屋内運動場改築工事について一般競争入札を執行し仮契約を締結したので、この契約について議会の議決を求めるものです。

- ・ 契約金額 3億4303万5000円
- ・ 契約方法 一般競争入札
- ・ 契約の相手方

◇議案第3号

工事請負契約の締結について (可決)

旭市二の1469番地 株式会社 伊藤工務店 橋梁上部工事(第1工区)第14号について一般競争入札を執行し仮契約を締結したので、この契約について議会の議決を求めるものです。

- ・ 契約金額 1億9635万円
- ・ 契約方法 一般競争入札
- ・ 契約の相手方

旭市二の528番地 阿部建設 株式会社

◇議案第4号

工事請負契約の締結について (可決)

橋梁上部工事(第2工区)第15号について一般競争入札を執行し仮契約を締結したので、この契約について議会の議決を求めるものです。

- ・ 契約金額 2億265万円
- ・ 契約方法 一般競争入札
- ・ 契約の相手方

旭市後草75番地 遠藤建設 株式会社

主な議案質疑

議案第2号

予定価格と落札率は。

A

予定価格は税抜きで3億6960万円、落札率は予定価格に対して88・39%です。

議会のうごき

平成22年3月2日以降の
主な議会のうごき

〈3月〉

- ・ 旭中央病院附属看護専門学校卒業式
- ・ 市内小・中学校卒業式
- ・ 第1回旭の風景写真コンテスト受賞者表彰式

・ 平成21年度「フレッシュフード海匠」見本市

〈4月〉

- ・ 市内小・中学校入学式
- ・ 第171回千葉県市議会議長会定例総会

・ 第76回関東市議会議長会定期総会

〈5月〉

- ・ 千葉県北総地区市議会正副議長会定例会及び視察研修会
- ・ 第55回千葉県東部五市体育大会
- ・ 東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会

・ 第27回千葉県自治体病院経営都市議会協議会総会

- ・ 山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会通常総会並びに第13回銚子連絡道路整備促進地区大会
- ・ NHK公開録画「あなたの街で夢コンサート」

・ 全国市議会議長会第86回定期総会

〈6月〉

- ・ 東総広域水道企業団議会臨時会
- ・ 平成22年度旭市消防ポンプ操法大会

【第2回定例会】

一般質問

市政に関する一般質問は6月17日・18日に行われ、10人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

袋公園整備事業の経緯は

公園

Q いろいろ計画され、どのように現在の整備に至ったのか。また、第2期の計画についてもお聞きします。



袋公園で楽しく遊ぶ子どもたち

A 昭和35年4月に都市計画法上の都市計画施設として、西側のため池を中心に7・7ヘクタールの区域について都市計画決定。昭和49年度に1回目の事業認可を取得して整備を開始。昭和56年1月に北側部分を拡張することとし、区域を8・9ヘクタールに変更、併せて事業認可期間を昭和58年度まで延長し、第1期の整備を完了したものです。

その後、平成13年3月に公園の面積を11・7ヘクタールとした都市公園事業として新たに事業認可を取得し、現在に至っています。

入札による落札率は

入札

Q 第一中学校屋内運動場と干潟シルバー活力センターの解体工事について、予定価格に対しての落札率は。

A 第一中学校屋内運動場の解体工事の落札率は81・72%。干潟シルバー活力センターの解体工事の落札率は81・72%です。

最低制限価格の導入の経緯は

Q なぜ、最低制限価格を設定することになったのか。

A 雇用の問題、あるいは国の指導、ダンピングといった安受けの問題もあり、最低制限価格を設ける時期だと決断しました。

新本館の商業施設は

中央病院

Q 新本館内部の商業施設は、現況の旭市母子寡婦福祉会がこれからも携わっていくのか、それとも新しい業者を導入するのか。

A 現在、院内には昭和34年から旭市母子寡婦福祉会の運営する売店が設置されています。新本館も1階に売店を設置しますが、病院としては引き続き旭市母子寡婦福祉会に依頼したいと考えています。

職員の採用は

Q 本年、臨時職員を本職員に採用したそうですが、詳しい経過説明を。

A 平成15・16年ごろから看護師不足が顕著になり、それを補うために看護助手を臨時職員として採用してきました。その間、看護師の確保に努めてきましたが、いまだ十分な確保が図られず、

臨時職員に頼らざるを得ない状況が続ぎ、臨時職員の継続雇用の問題も指摘されたことから、18年からは派遣職員の活用となりました。

20年度は、3年間の派遣期間が満了するため、業務の見直しを行い、外部委託ができる業務については外部委託を図り、残る部分も、1年を超えない範囲の中で次の対応を考えるとということで臨時職員の採用を行いました。

こうした経緯があり、昨年度、看護師の確保の状況を見ながら今後の業務を精査し、必要な人員数について採用試験を行い、正規職員として看護助手の採用を行いました。

患者が一極集中することへの対策は

Q 一極集中がもたらす影響とその対応策についての市長の考えは。

A 現在、地域医療再生計画の中で回復リハビリや回復期患者等の受け入れ病院の安定的な確保等をフォローアップしてくれるような話し合いを進めているところです。この中で十分検討を加えながら解決に進んでいきたいと考えています。

経営形態の議論は

Q 中央病院の経営形態について議論すること自体がタブー視されているように思うが、市長はどのようにお考えか。



旭中央病院の駐車場

A 経営形態についての議論をするこ
とに縛りをつけることは全くあり
ませんので、自由に議論することはで
きと思います。議論を封じているよう
な話がありました。行政、病院側でも
誰も議論をするとは言っていないと思
います。

行財政改革のための 合併では

行政改革

Q 学校、道路、消防署の広域化、い
いおか荘の民営化等、それぞれに
ついての考えをお示し願いたい。

A 小・中学校の整備については、耐
力度調査及び耐震診断の結果と校

舎建築年度の2点を最重要と位置づけ、
平成19年度から平成23年度の5か年間に
おける改築等の優先順位を決定し、学校
整備全般を進めています。

道路については、合併前からの地区の
要望を有利な財源が使える時期に整備し
たいと思っています。

消防署の広域化について、千葉県では
平成20年2月に千葉県消防広域化推進計
画を策定、県内31消防本部を7消防本部
とする組み合わせを示しました。当市の
組み合わせは、銚子市、匝瑳市、香取市、
東庄町です。今後は、他の消防本部と広
域化によるメリット等について協議・検
討を進めたいと考えています。

いいおか荘は、昭和42年7月1日に開
業して以来、43年という長い歴史があり
ます。その間、地域の方に愛され、また
特別な思いもあるいいおか荘を、経営が
厳しいという理由だけで一概に廃止とい
う考えは持っていません。数少ない旭市
の観光の拠点施設として、運営委員会の
意見も伺い、あらゆる活路を模索しなが
ら、将来的には指定管理者制度の導入も
視野に検討していきたいと考えています。

行政改革推進課の役割は

Q 行政改革推進課はどのような役割
を担っていくのか。

A 合併後5年が過ぎ、今後の5年間
はなお一層、改革推進に厳しい状
況が続くと思います。そのため、改革の
推進役として、行政改革に関する様々な

課題について、担当課との調整を図りな
がら、第2次行政改革アクションプラン
に基づく改革の進行管理を担います。

当面の優先的な取り組みとして、現在
見直し作業に着手している公共施設の見
直しをはじめ、組織・機構の再編に関す
ることや未利用資産の処分に関すること
を中心に検討・推進していきます。

行政改革推進課を市長の直属に

Q 行政改革推進担当課を市長の直属
として、市長の権限や責任の一部
をその課に移行したらどうか。

A 行政改革推進課がスタートしたば
かりであり、今後、状況を把握し
ながら、できるならば、そういった方向
でいきたいと考えています。

窓口でのトラブルは

Q 各支所での市民とのトラブルや不
満を聞いているか。

A 行財政の効率化を図るため、支所
組織を含め、行政組織の再編を段
階的に実施してきたところです。適切な
住民サービスを確保しつつも、合併によ
る財政支援の終期などを見据え、組織の
効率化・スリム化は一層推進していかな
ければならず、現在分散している行政機
能を集約させ、将来的には庁舎を一本化
することが理想だと考えています。

現在の支所機能と分庁機能が混在する
状況はこの途中経過であり、そのような

一般質問の 質問事項

発言議員と質問 事項を紹介します。

◆日下昭治議員

- 1 袋公園整備事業について
- 2 袋公園西側進入路、駐車場整備計画について
- 3 入札について
- 4 家畜特定伝染病（口蹄疫）対策につ
いて

◆滑川公英議員

- 1 中央病院について
- 2 行財政改革の為に合併したのでは
ないか
- 3 袋公園西側入り口土地取得について

◆高橋利彦議員

- 1 袋公園進入路について
- 2 行財政改革について
- 3 中央病院の雇用問題
- 4 旭市土地開発公社について
- 5 消防団について

◆島田和雄議員

- 1 健全な旭市財政を確保するには
人口減少をどう止めるのか
- 2 戸別所得補償モデル対策について

中でご指摘のようなお話を何度か聞いています。市民の皆様にはご不便な面もあるかと思いますが、ご理解いただきたいと考えています。引き続きそういった中でも個々のサービスを低下させぬよう、よりきめ細かな対応を図るよう指導していきたいと思っています。

救急医療情報キットの検討は

消 防



救急医療情報キット

Q 救急医療情報キットについて、旭市では検討しているのか。

A 当市で65歳以上の高齢者を対象とした場合、1000から2000セットの準備が必要と思っています。今後は導入市町の活用状況、他の市町村の導入の計画等、動向を確認しながら検討していきたいと考えています。

解説 救急医療情報キット

高齢者、障害者などの方が、かかりつけ病院や持病などの医療情報、薬剤情報

提供書、診察券、健康保険証の写し、緊急時の連絡先、本人の写真などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、万が一の緊急時に救急隊員等が情報を活用するもの。

消防団長の人選は

Q 消防団長の決め方についてお尋ねします。

A 消防団長の任命は、旭市消防団条例第4条で、消防団の推薦に基づいて市長が任命することになっています。今回の団長選任にあたっては、複数の方が消防団から推薦を受けました。複数であったため、消防団で1人にまとめてほしいと促しましたが、まとまらなかったため、団長、副団長を招集して会議を開き、私のほうから任命しました。

合併時と比較しての経費削減額は

財 政

Q 合併後、多くの項目において経費削減が図られてきたが、どういった項目でどのくらいの経費が削減された現在、年間の合計額として合併時よりどのくらい削減されたのか。

A 市の事業は年度によってそれぞれ増減があり、内容も異なるため、一概に差額を数値では表せません。ただ人件費では計算が可能なため、人件費の削減額を比較すると、平成17年度は59億

3700万円、21年度は51億7700万円、その差は7億6000万円です。

市税のコンビニ納付の検討は

市税等

Q 納税について、コンビニなどでの振込システムは検討しているのか。

A 納税者の利便性、費用対効果等を考えながら、第2次旭市行政改革アクションプランの中で実施について検討しているところです。なお、千葉県内58市町村中、平成21年12月現在の導入市町村は17市となっています。

不良財産はどうするのか

土地開発公社

Q 土地開発公社の不良財産はどのようにするつもりなのか。

A 5年以上や10年以上の土地は、それぞれの目的があり、その事業ごとに受託期間の延長をしています。その受託期間内のものがほとんどですが、唯一、前身である旭市開発振興公社から面積で3844平方メートル、金額は簿価にして1051万4705円の土地があります。これは細かい土地であり、道路の残地等です。これらについては、市が市有地の管理をしているので、適切に買い取っていたべく等して処分していきたいと思っています。

◆大塚祐司議員

- 1 中央病院について
- 2 教諭補助員について

◆向後悦世議員

- 1 市長の政治姿勢について

◆伊藤房代議員

- 1 口蹄疫対策について
- 2 ヒブワクチン予防接種の助成について
- 3 国保特定検診の受診、徹底について
- 4 中学・高校卒業者の就職について
- 5 放課後児童クラブの充実について

◆伊藤保議員

- 1 納税について
- 2 水道管耐震について
- 3 救急医療情報キットについて

◆太田将範議員

- 1 民主党の税制改正と今後の所得税と地方税について
- 2 低所得者や福祉、教育などの給付基準等について
- 3 子供の医療費の無料化について
- 4 旭市行政改革アクションプランについて

◆飯嶋正利議員

- 1 都市計画税について
- 2 農業問題について
- 3 矢指小学校改築工事について

都市計画税の課税状況は

Q 合併後の都市計画税の課税状況と金額は。

A 都市計画区域は、旧旭地区のみが指定されていますが、区域区分が定められていないため、都市計画税条例第2条第1項で「農業振興地域の整備に関する法律第8条の規定により定められた農用地区域以外の区域内に所在する土地及び家屋に対し所有者に課税する」と規定されています。

都市計画区域の面積は50・2平方キロメートルで、合併から現在まで変わっていません。なお、平成22年度の都市計画税は2億5309万6000円です。

人口減少をとめることができるのか

定住自立圏構想

Q 定住自立圏構想は国から年間4500万円、5年間で2億2500万円の財政措置が講じられる事業です。この事業で人口減少をとめることができるのか。

A 旭市が活性化をすることで定住促進につながるという事業ですので、活性化に必要な事業を取り込みたいと考えています。

戸別所得補償制度の加入率向上を

農業

Q 飼料用米は10万円近い助成が見込まれ、減反にカウントされます。さらに、各農家が減反の割り当て面積をクリアした場合、普通の米を作付した面積に対して1反当り1万5000円の所得補償がつき、所得の上乗せが期待できます。加入率がだいぶ低いということで、徹底した説明を行い、農家の所得向上に寄与していただきたいと思うが。

飼料用米は10万円近い助成が見込まれ、減反にカウントされます。さらに、各農家が減反の割り当て面積をクリアした場合、普通の米を作付した面積に対して1反当り1万5000円の所得補償がつき、所得の上乗せが期待できます。加入率がだいぶ低いということで、徹底した説明を行い、農家の所得向上に寄与していただきたいと思うが。



黄金色に実った干潟八万石での稲刈り

上乗せの助成は

A 農家を回ると「今年は様子を見て来年は」という方が多くいます。再度、個別に通知等をして周知の徹底を図っていきたいと考えています。

Q 「園芸王国ちば」強化支援事業等について、市単独で若干の上乗せの助成はできないか。

A 本市では他市にない農家への政策支援として、本年度からの新規事業「こだわりの旭ブランド創出支援事業」、従来からの新規作物等の栽培に挑戦する「ベンチャー農業支援事業」等の支援策を設けており、農業の支援策では他市に負けない支援を今後とも続けていきたいと考えています。また、飼料用米も今年は100ヘクタールという予想ですが、これについても市の補助分があり、いろいろな部分で旭市は農業に対する補助事業を行っているところです。

「園芸王国ちば」強化支援事業の上乗せについては非常に厳しい財政の中、今のところ難しいと感じており、ご理解いただきたいと思います。

口蹄疫対策は

畜産

Q 旭市への口蹄疫の侵入防止に万全を期して、油断なく再度徹底できないか。

A 旭市では、家畜防疫協会を既に設置しており、協会を中心に現在まで防疫の徹底を行っています。県よりもいち早く、豚が感染した翌日に対策会議等をやリ、3日後には消石灰30トン配布しました。これは九州を除く全国・千葉県で一番早いと考えています。

宮崎での事例を参考に、車や長靴の消毒だけではなく、車のマットの消毒までお願いし、防疫の徹底をしています。仮に、もし出た場合には、よその農場に拡散しないように、1例で終わりにすることを確認したところです。

教諭補助員・基礎学力支援員の評価は

教育

Q 旭市では教諭補助員、学力支援員を採用しています。これらの職種の実際の役割と学校側の評価及び市内の小・中学校への配置の実態は。

A 教諭補助員11名及び基礎学力支援員5名は、特別に支援を要する児童への支援及び個に応じたきめ細かな指導を行うことを目的として市内小・中学校14校に配置されています。

小学校では、特別に支援を必要とする児童への支援及び学級担任の補助的な業務、また国際理解教育の一環として英語指導を行っています。中学校では、チーム・ティーチングによる個別指導等にあたっています。

配置を受けた学校からは非常に高く評



働され、肯定的な意見が数多く寄せられています。今後も、市内小・中学校の児童・生徒一人ひとりのための教育効果を高めるとともに、保護者、地域のニーズに応えられるよう、教諭補助員制度の充実に努めたいと考えています。

飯岡中学校整備の予定は

Q 飯岡中学校の建設の着工と完成の予定年月日は。

A 申請手続き等により、多少時間がかかったところがありました。しかし今、肅々と飯岡中学校の事業については事務を進めているところですので、ご理解いただきたいと思います。

矢指小学校改築工事の遅れは

Q 矢指小学校の改築工事が遅れている理由は。

A 平成21年度、矢指小学校改築事業の設計業務を実施し、内容は実施設計と開発行為に係るものです。その開発行為に際し、雨水排水計画に伴う関係機関等の同意及び隣接地権者の同意が必要となり、その同意の取得に不測の期間を要したことが遅れの最大の理由です。

雨水排水計画は、既存水路と最終放流先の矢指川について、地元の矢指工区、大利根土地改良区及び県の農林水産部との協議に時間を要し、その後、同意は得られています。これと並行し、開発行為に関する施工同意の取得を進めていまし

たが、一部地権者、また墓地関係者からの施工同意取得に、若干不測の期間を要し、今日に至っています。



改築が予定されている矢指小学校

広域ごみ処理施設の場所は

Q 広域ごみ処理施設について、建設場所を決定したのか。

A 銚子市野尻町地区を有力な候補地として検討していくため、東総地区広域市町村圏事務組合の組織を見直し、銚子市役所内に新たな施設整備課を置き、広域ごみ処理事業を推進していくところです。また、最終処分場についても、同

環境

一市内で併せて検討することに決定しています。

ヒブワクチン 予防接種に助成を

保健

Q ヒブワクチン予防接種に助成金を出すことはできないか。

A ヒブワクチン予防接種は任意接種で、費用は全額自己負担であり、1回およそ7000円から8000円ほどです。通常の接種時期は生後2か月より4週から8週の間隔で3回、1年後に追加接種し、合わせて合計4回の接種をすることになります。

予防接種の助成については、平成22年度に県内で7市町が予防接種費用の助成を実施、または予定していますが、本市としては今後の県内及び近隣市町の動向に留意していきたいと考えています。

子どもの医療費 無料化の検討を

福祉

Q 中学校卒業までの子どもの医療費の無料化を検討すべき時期にあるのではないか。また、小学校卒業までの子どもの医療費の助成をした場合、市の負担はどの程度か。

A 中学校卒業までの医療費無料化は、かなり市単独の財源があることもあり、なかなか難しいと感じています。

小学6年生まで拡大した場合の事業費は、小学3年生までの場合より3700万円の事業費の増加となります。

基準の一本化は

Q 制度利用の料金や一部負担及び給付の決め方を旭市の裁量で一本化できないか。

A 担当課等と精査して、一つでもできれば検討したいと思いますが、制度によって基準が異なり、国・県の基準等もいろいろ違いますので、難しいと感じています。

水道管の耐震化は

水道

Q 一般に水道管と言われている配水管は市内で総延長何キロか。また、新聞で耐震がないと指摘された基幹管路はどこか。

A 水道管の総延長は約553キロメートルです。

これは指摘ではありませんが、厚生労働省の水道施設の耐震化状況調査において対象とされた水道管は、配水管のうち基幹管路です。旭市内では、旭配水場から本庁舎西側市道に埋設され、県道八日市場井戸野旭線までの間の管のことです。

解説 基幹管路

口径400ミリ以上の給水管で、分岐しない配水本管。

常任委員会の審査

建設経済常任委員会

6月22日(火)午前10時より、本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第1号平成22年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「農林水産業費のきめ細やかな農水産業の振興事業委託料は、製粉機の稼働率向上ということであるが、どのくらい米粉にしているのか、



「水の郷さわら」を視察した建設経済常任委員

また、需要として米粉でどういうものを作っているのか。」との質疑では、「平成21年度の実績は、使用人数が128名、量にして3280キロである。米粉の需要については、ケーキ等を作ったり、うどんにして学校給食に提供しているが、地域のお菓子屋などと連携しながら、さらなる普及に取り組んでいきたいと考えている。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、陳情第9号備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める陳情、陳情第10号国産農産物の生産者価格の大暴落を引き起こすEPA・FTA推進路線の見直しを求める陳情の審査では、「大事な問題であるので、もう少し研究する必要があるのではないか。」との意見が出され、陳情第9号及び陳情第10号は全員賛成で閉会中の継続審査と決しました。

委員会の審査終了後、道の駅構想の関係で香取市の「水の郷さわら」などの視察をしました。

文教福祉常任委員会

6月23日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された3議案の審査を行いました。

議案の審査では、特に質疑等はなく、



文教福祉常任委員会

審査の結果、3議案とも全員賛成で、原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

続いて、陳情第5号子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情の審査では、「支給の方法に問題があるとしても、子ども手当は日本の人口減の抑止策の一つと思っている。現段階では子ども手当を廃止することは時期尚早ではないか」との意見が出され、審査の結果、全員賛成で不採択と決しました。

総務常任委員会

6月24日(木)午前10時より本委員会が開催され、付託された10議案の審査を行いました。

議案の審査では、特に質疑等はなく、審査の結果、10議案とも全員賛成で、原案のとおり可決、承認するものと決しました。

続いて、陳情第6号人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情、陳情第7号永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情、陳情第8号選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情、また、去る第1回定例会において閉会中の継続審査となっていた陳情第3号公契約条例の制定を求める陳情の併せて4件の陳情審査を行い、陳情第3号では、「今の入札制度では、



総務常任委員会

単価が安くなり、人件費等に影響が出てしまうので、価格の最低必要限度を確保することが重要ではないか。」との賛成とする意見があつたが、「当市は、この4月より最低制限価格を設けているので、その様子を見てから判断してはどうか。」との意見が出され、また、他の陳情につ

行政視察報告

いては、「国政の中でも意見が分かれている内容であることから、現段階では判断すべきものではないのではないか。」との意見が出され、審査の結果、陳情第3号、陳情第7号は賛成多数で、陳情第6号、陳情第8号は全員賛成で、いずれも不採択と決しました。

議会だより編集委員会

7月8日から9日の2日間に渡り、山形県南陽市議会と山形市へ行政視察しました。

1日目の南陽市議会では、議会だよりの編集、発行、全般について視察を行いました。南陽市の議会だより編集委員は、



視察先の南陽市議会だより編集委員と

新人議員6名で構成されており、編集を担当することが議員の勉強になるとのこととで新人議員がこの任に当たっています。

そして、「議会だより」での一般質問の扱いは、質問者ごとに半ページを割り当てていますが、ページ数は通常12ページですが、質問者が多い時は14ページになるとのことです。

一般質問の編集は、質問議員が自分の質問と答弁の原稿を作成し、その後、編集委員会にて校正を行います。

また、常任委員会報告は常任委員長が原稿を作成し、他のページの原稿については、編集委員が分担し原稿の作成、編集をしています。

特に表紙は、市内に28ある子供スポーツクラブの写真を順番に使っています。子供たちの写真を掲載することによって、市民から「議会だより」に興味を持って、保存して頂けるとのことでした。

2日目は、山形市学校給食センターを視察しました。山形市初のPFI事業で建設、市内の小中学校57校に1日当たり2万2000食の給食を提供できる日本

最大級の給食センターです。業務は平成21年度から開始、市民に施設見学及び試験食を行っています。

また、調理業務については、民間業者に委託、人件費等の経費削減や要望に對しての対応が早くなったとのことでした。

なお、今回の視察で学んだ事を参考に市民に親しみやすい「議会だより」を目指し編集作業に当たっていききたいと感じました。

建設経済常任委員会

市長の掲げている「道の駅構想」で、7月21日から23日まで、新潟県妙高市、群馬県藤岡市、栃木県佐野市、茨城県つくば市のみずほの村市場を視察しました。

21日の新潟県妙高市の「道の駅あらい」は、年間売上げが約25億円の日本一の道の駅。総工費が約44億円、経営形態は第三セクター方式をとっており、資本金4千万円のうち、市が50パーセント出資。人を呼べる施設として飲食物販に特化。エリア内には、ホテルやすき家など、有名チェーン店が参入しており、商売は商売のブロに任せるとのことでした。

22日に視察した群馬県藤岡市の「道の駅ふじおか」は、年間売上げが約22億円、日本で第2位の道の駅。やはり第三セクターの経営で、1億円の資本金に対して、62パーセントが市、残りを地元支店を持つ金融機関とJAなどが出資しています。

また、栃木県佐野市の「道の駅どまん



「道の駅あらい」駅長と建設経済常任委員

なかたぬま」についても、年間売上げ約13億円で全国4位となっており、運営は第三セクターで、資本金は3千万円。市は80パーセントを出資し、残りの20パーセントはJAや地元金融機関等が出資しています。

この3施設は、産直館がメインではなく、食堂等のテーマパーク型の道の駅となっていました。

最終日の23日には、茨城県つくば市の「みずほの村市場」を視察。本物の農産物を提供することを第一に考え、農業生産者ではなく農業経営者をつくることを目指して平成2年10月に設立。当初の売上げは約1億円、年々売上げを伸ばし20年経った現在、年間約6億4千万円を売上げる施設となったとのことでした。

3日間の視察を行い、「道の駅建設」に役立てていきたいと感じました。

平成22年度

旭市子ども議会

7月27日、本庁舎3階の議場において、子ども議会が開催されました。

一般質問を行ったのは、市内小中学校

20校から22名の子ども議員。

議場内には傍聴の子どもたちが22名、2階の傍聴席にも学校関係者などが大勢

詰めかけるなど、議場で行われる定例会本番さながらの一般質問の模様を体験しました。
議事進行役は旭市議会の林議長が務め、答弁者には市長をはじめ教育長、各課長が、それぞれの質問に対して答弁にあたりました。

市政に対しての質問では、身近にある通学路の整備や環境問題、観光対策、交通安全対策など多岐にわたり、執行部の答弁に対し再質問が出るなど積極的な議論が行われました。

編集後記

今年から委員数が減り4人でスタートした編集委員会。慣れない中、協力し3回目の発行となりました。

この間、市民の皆様からいろいろなご意見を頂戴しています。そのような声を紙面づくりに反映させようという取り組みで行きたいと思っています。議会の様子を正確に分かりやすく伝えることが議会だよりの使命であり、それによって、議会を中心とする地域の民主主義がより進むものと信じています。

このことを念頭に委員一同なお一層努力してまいりたいと思います。

(委員・島田 和雄)

旭市議会だより編集委員会

委員長 伊藤 房代
副委員長 宮澤 芳雄
委員 島田 和雄
委員 大塚 祐司

子ども議員と質問内容

発言議員			質問要旨
1番	越川 新菜	中央小6年	新川浄化のための予算化について
2番	鎗木 愛加	中央小6年	交通安全運動の予算について
3番	神谷 紀成	琴田小6年	地産地消の取り組みについて
4番	藤野 秋音	干潟小6年	旭市の図書館の充実について
5番	林 莞寿	富浦小6年	旭市の新たな対策について
6番	伊藤愛里子	矢指小6年	旭市の観光について
7番	根本 実歩	共和小6年	通学路の整備について
8番	山崎 里実	豊畑小6年	旭市のホームページについて
9番	堀川 優花	鶴巻小6年	蛇園～後草の交差点について
10番	渡辺 絢香	滝郷小6年	安心して歩ける通学路について
11番	相川 由佳	嚶鳴小6年	小学生の自転車事故を減らすための対策について
12番	佐藤 夏生	三川小6年	オリンピック選手が育つ旭市について
13番	寺村 一也	飯岡小6年	農水産物の直売所について
14番	小林 姫利	中和小6年	今後のプールの建設予定について
15番	井上 和哉	萬歳小6年	萬歳自然公園の整備と新しい遊具について
16番	小林 克佳	古城小6年	旭市のよさを多くの人に知ってもらうための対策について
17番	田邊 奈々	第一中2年	環境問題について
18番	高橋 大和	第二中2年	安全な登校のための通学路の整備について
19番	飯田 千香	第二中2年	活気ある町づくりのための取り組みについて
20番	渡辺 浩基	海上中3年	海上中にはなぜプールがないのかについて
21番	阿部 滉平	飯岡中3年	飯岡中学校の校舎建設について
22番	伊藤亜希子	干潟中3年	旭市の人口増加へ向けてのプランについて

旭市子ども議会



子ども議会終了後、林議長、明智市長らと記念写真

議会を傍聴しませんか

第3回定例会は9月1日(水)から行われます。
詳しくは議会事務局へ ☎ 62-5304

FAX 62-5384